

科目名称	看護過程	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30
担当教員	藤原 恵子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

看護の対象者に個別的な看護活動の方法を実践するために、健康問題を解決する系統的な方法を学ぶ。事例を用いて看護過程を学ぶことにより、看護に対する興味関心を深めることをねらいとする。

【2】学習目標

1. 看護過程の概念を理解できる。
2. 看護過程の構成要素を理解できる。
3. 看護過程の展開方法を理解できる。
4. 看護計画の立案・実施・評価を行うことができる。
5. 紙上事例に対する看護過程の展開ができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護過程の構成要素①	講義
2	情報収集①	講義・グループワーク
3	情報収集②	グループワーク
4	分析・解釈①	講義・グループワーク
5	分析・解釈②	グループワーク
6	全体像①	講義・グループワーク
7	全体像②	グループワーク
8	看護記録	講義・グループワーク
9	看護問題①	講義・グループワーク
10	看護問題②	講義・グループワーク
11	看護計画(実施・評価・修正)①	講義・グループワーク
12	看護計画(実施・評価・修正)②	講義・グループワーク
13	看護計画(実施・評価・修正)③	講義・グループワーク
14	看護計画(実施・評価・修正)④	講義・グループワーク
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験 70%、単元末確認テスト 10%、学習の取り組み 20%

【6】教科書

1. 茂野香おる: 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術 I (第19版) 医学書院 2026(電子版)
2. 渡邊トシ子: ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践 看護アセスメント ニューヴェルヒロカワ 2011

【7】参考書

木下和治編「看護過程をひとつひとつわかりやすく。」 Gakken2024 年
古橋洋子編「はじめて学ぶ看護過程」 医学書院 2020 年
上野栄一ほか編「看護診断の看護過程ガイド」 中央法規 2022 年
永田明ほか監修「看護がみえる Vol.4 看護過程の展開」 メディックメディア 2020 年
各種看護学雑誌

1 その他随時紹介する

【8】受講生へのメッセージ

看護過程は、看護の考え方の技術(スキル)です。既習の知識を活用し、今対象に必要な看護は何かを判断していきます。この技術を基本として、対象者の個性を考慮した看護を展開していきましょう。